

令和5年度
第1回 宇治市文化芸術推進委員会

次 第

日時：令和5年9月7日（木）
午後3時～
会場：宇治市役所8階 大会議室

1 開会

2 挨拶 産業観光部長 脇坂 英昭

3 議事等

(1) 文化芸術振興基本計画における令和4年度の事業実施状況について

資料1

(2) 令和5年度におけるその他の文化事業について……………資料2

(3) 令和5年度「源氏ろまん2023」(案)について……………資料3

(4) 紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクトについて……資料4

(5) その他

4 閉会

宇治市文化芸術推進委員会設置要項

(目的)

第1条 「宇治市文化芸術振興条例」第9条第1項に定める「宇治市文化芸術振興基本計画（以下「計画」という。）」に基づき、文化芸術施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、宇治市文化芸術推進委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(審議事項)

第2条 委員会は次の各号に掲げる事項について、協議するものとする。

- (1) 文化芸術施策の総合的かつ計画的な推進に関する事。
- (2) 計画の進捗等に必要な事項に関する事。

(組織)

第3条 委員会は、委員15人以内で組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 学識経験のある者
- (2) 文化芸術活動に携わる者
- (3) 第1条の目的の遂行に関係のある者
- (4) その他市長が適当と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、2年以内とする。ただし、委員に欠員が生じた場合における補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置く。

2 委員長は、委員の互選により決定する。

3 委員長は委員会を代表し、会務を総理する。

4 前項の委員長に事故があるとき又は不在のときは、あらかじめ委員長が指名する者が、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、必要に応じ委員長が招集する。

2 委員会は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

(意見の聴取)

第7条 委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、産業観光部文化スポーツ課において処理する。

(補足)

第9条 この要項に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会に諮って委員長が定めるものとする。

附 則

- 1 この要項は、令和4年7月11日から施行する。
- 2 この要項の施行後の最初の委員会の招集は、第6条第1項の規定にかかわらず、市長が行う。

宇治市文化芸術推進委員会 委員名簿
 (任期：令和4年8月17日 ～ 令和6年8月16日)

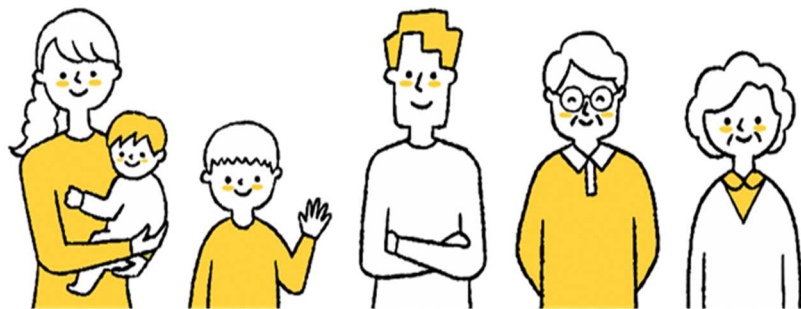
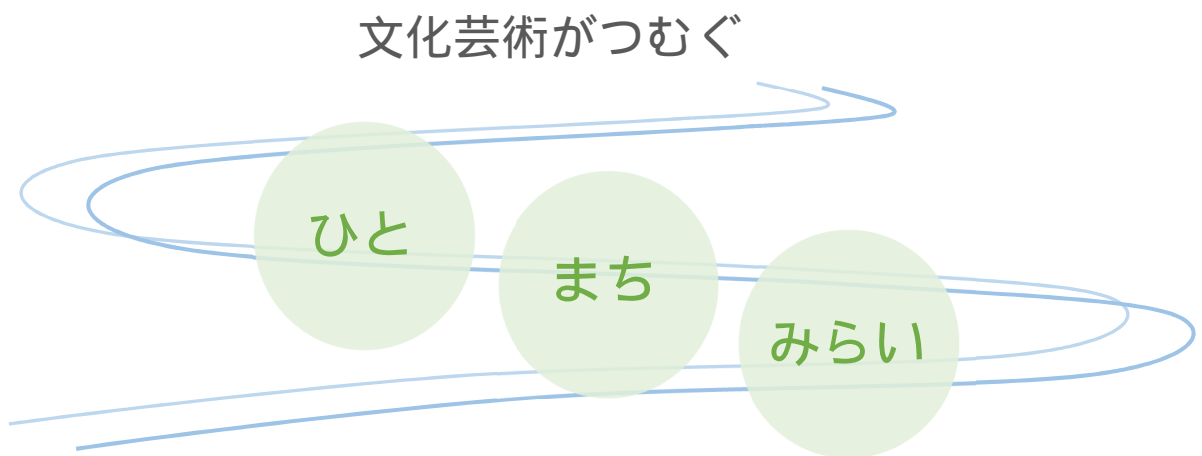
◎=委員長 ○=委員長職務代理

氏名	職名等
岩井 亨	宇治市観光協会 副会長
小宮山 恭子	宇治市生涯学習審議会 委員
塩見 啓子	紫式部文学賞推薦委員会・紫式部市民文化賞選考委員会 委員
◎ 滋野 浩毅	京都産業大学 現代社会学部 教授
柴田 宗啓	宇治市茶道連盟 会長
中谷 雅夫	宇治田楽まつり実行委員会 会長
西田 尚武	宇治文化少年団 団長
左 美幸	宇治商工会議所 青年部会員
福井 ひろ子	宇治市子ども会連絡協議会 副会長
○ 矢野 友次郎	宇治市芸術文化協会 会長
山本 淳子	京都先端科学大学 人文学部 教授
吉水 利明	宇治市文化財愛護協会 理事長

オブザーバー

勝山 亨	京都府文化スポーツ部文化政策室 室長
------	--------------------

(1) 文化芸術振興基本計画における令和4年度の事業実施状況について



1 数値目標について

取り組む柱	評価指標	計画策定時点 現状値	計画期間中 目標値	令和4年度実績	備考
1 機会の充実	暮らしを豊かにするうえで文化芸術を必要と思う市民の割合	79.9%	85%	(79.9%)	令和3年度アンケート調査結果より
	文化芸術を鑑賞している市民の割合	74.9%	81%	(74.9%)	令和3年度アンケート調査結果より
	市民交流ロビーコンサートの観覧者数	3,780人 (H30年度数値)	4,300人	265人	新型コロナウイルス感染症対策として、 各回事前申込制（先着40人）
2 交流の促進	宇治市民文化芸術祭の来場者数 (舞台の部・展示の部 合算)	6,400人 (R元年度数値)	7,500人	3,450人	
3 活動の促進	文化芸術活動をしている市民の割合	29.8%	36%	(29.8%)	令和3年度アンケート調査結果より
	文化センター利用者数	137,194人 (H30年度数値)	150,000人	79,371人	
4 担い手・支え手育成	(高校生以下の)同居の子の暮らしを豊かにするうえで 文化芸術を必要と思う市民の割合	79.6%	86%	(79.6%)	令和3年度アンケート調査結果より
	宇治市少年少女合唱団 団員数	36人 (H3.12月時点数値)	50人	25人	
5 情報の発信	宇治市文化芸術活動おうえんチャンネル動画総再生回数	34,219回 (H3.12月時点数値)	210,000回	80,579回	
	宇治市公式LINEで「まなび__文化」で通知設定している人	679人 (H3.12月時点数値)	1,150人	1,152人	R5.5.23時点

2 令和4年度主な事業の実施状況について

取り組む柱	1 機会の充実	事業概要	昼休憩時間にミニコンサートを開催。気軽な音楽活動を発表する場として市庁舎を提供し、音楽文化の促進と市民相互の交流を図る。さらに、ピアノの自動演奏機能を活用し、音楽に親しむ機会を広く市民に提供する。
主な市の事業 (令和4年度)	市民交流ロビーコンサート :文化スポーツ課	令和4年度実績 (日程・参加者数等)	昼休憩時間の午後0時15分～45分に、市役所1階市民交流ロビーを会場として全7回開催した。毎回ほぼ定員(40人)に達した。 延べ観覧者数:265人
検証・評価	分析・考察	市民交流ロビーコンサートを開催することで、文化芸術の発表にとどまらず、市庁舎という身近な場所で、広く市民に文化芸術に触れる機会を提供することができた。	
	今後の取組方針	市民等による文化芸術活動と身近に出会う機会の充実に向けた効果的な手法について、検討していく必要がある。	



取り組む柱	1 機会の充実	事業概要	研究者や作家を講師として、『源氏物語』の理解を深め、広めることを目的に開催している。令和4年度は、「藤原道長の栄華」と題して実施した。
主な市の事業 (令和4年度)	(源氏ろまん事業) 源氏物語セミナー :博物館管理課	令和4年度実績 (日程・参加者数等)	開催日:令和4年10月28日(金) 参加者数:73人(定員100人)
検証・評価	分析・考察	新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ開催した。本セミナーは研究機関である大学の研究成果と市民とを結びつける機会となっている。	
	今後の取組方針	市民のニーズや時代にそったテーマを選び、最新の研究成果などを市民に継続して提供していくと共に、より多くの市民が参加できるよう、会場や定員を検討。	



取り組む柱	1 機会の充実	事業概要	宇治茶及び茶道の普及並びに観光の振興を図るために市営茶室「対鳳庵」を設置している。宇治を訪れる観光客に本場の宇治茶を気軽に味わってもらっている。
主な市の事業 (令和4年度)	市営茶室対鳳庵 :観光振興課	令和4年度実績 (日程・参加者数等)	入席者数6,077人
検証・評価	分析・考察	令和3年度の入席者数2,144人に比べ大幅に増加した。令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策として、上限6名までの対応としている中でも、1年を通して開席することが出来たことや、海外からの渡航制限が緩和・解除されたことにより入席者数が増加したと考えられる。	
	今後の取組方針	引き続き入席者数の増加を図るとともに、多言語用のタブレットを設置しインバウンド受け入れ態勢の強化を図る。	



取り組む柱	1 機会の充実	事業概要	生涯学習センター1階ロビーを市民の生涯学習の発表の場として開放している(1団体・個人ごと最大7日間)。展示期間中は市民向けのミニ講習会を開くことが可能。
主な市の事業 (令和4年度)	生涯学習センター ロビー展示 :生涯学習課	令和4年度実績 (日程・参加者数等)	展示団体数:36団体 展示日数:延べ194日
検証・評価	分析・考察	令和3年度の展示団体数(29団体)展示日数(延べ157日)を上回った。新型コロナウイルス感染症による休館期間がなくなったこと等が原因と考えられる。	
	今後の取組方針	展示団体数、来場者数、展示団体と来場者の交流機会の増加に向け、広報を工夫する。	



取り組む柱	2 交流の促進	事業概要	文化意識の高揚と文化芸術活動の推進を目指し、市民等が日頃の文化芸術活動の成果を発表。文化芸術活動者間の交流と文化芸術活動の活性化を図るため、市民文化芸術祭を実施する。
主な市の事業 (令和4年度)	宇治市民文化芸術祭 :文化スポーツ課	令和4年度実績 (日程・参加者数等)	日時:令和4年10月22日(土)・23日(日) 10:00~16:30 場所:宇治市文化会館(舞台の部)・宇治市中央公民館(展示の部) (展示の部) 出展者 138人[8団体]／入場者 550人 (舞台の部) 出演者 521人[29団体]／入場者 2,900人
検証・評価	分析・考察	新型コロナウイルス感染症の影響により各団体の活動者が減少し、参加者(出展者・出演者)数が減少した。それに伴い、入場者数も減少してきている。	
	今後の取組方針	参加者及び入場者が増加するためには、事業内容や広報等を再検討しなければならないが、参加事業を含めた市民文化芸術祭全体の在り方について、根本的な検討が必要である。	



取り組む柱	2 交流の促進	事業概要	宇治橋周辺の宇治十帖ゆかりの地など21箇所をスタンプスポットとし、スマートフォン等のGPS機能を使用したデジタルスタンプラリーを実施する。スマートフォンを持っていない人向けにはウォーキングマップを準備する。
主な市の事業 (令和4年度)	(源氏ろまん事業) 宇治十帖スタンプラリー :文化スポーツ課	令和4年度実績 (日程・参加者数等)	開催日:令和4年10月1日(土)~11月30日(水) 踏破者数:5,480人 (スマートフォン3,669人、ウォーキングマップ1,811人)
検証・評価	分析・考察	賞品に地域の商店街で利用できる共通利用券を取り入れるなど地域への波及効果や事業の魅力アップを図った。	
	今後の取組方針	「源氏物語のまち」としての宇治の魅力を、より多くの方々へPRするため、参加者数増加に向けた事業実施方法の検討が必要。令和5年度は大河ドラマ「光る君へ」PRを含めた事業を検討している。	



取り組む柱	2 交流の促進	事業概要	生涯学習に取り組んでいる人の発表・交流の場とすると共に、これから何かを始めたい人のきっかけづくりの場として開催している。市民公募による実行委員会形式。
主な市の事業 (令和4年度)	宇治まなびんぐ :生涯学習課	令和4年度実績 (日程・参加者数等)	開催日:令和5年2月18日(土)~2月19日(日) 出展者:35団体・個人(初出展者は8団体) 参加者:686人
検証・評価	分析・考察	令和3年度の出展者数(23団体)参加者数(292人)を上回った。新型コロナウイルス感染症による影響が小さくなったこと等が原因と考えられる。	
	今後の取組方針	出展者数、参加者数、出展者と参加者の交流機会の増加に向け、実行委員とともに新しい工夫や企画を検討する。	



取り組む柱	3 活動の促進	事業概要	市内の高校生による自主的・創造的な文化芸術活動の成果発表を通じて、若年層の文化芸術活動者の学校を越えた交流を図る。
主な市の事業 (令和4年度)	高校生文化芸術祭典 :文化スポーツ課	令和4年度実績 (日程・参加者数等)	日時:令和4年12月22日(木)10:00~18:00 12月23日(金)10:00~17:00 場所:宇治市文化センター 出演者 300人[18団体] / 入場者 793人
検証・評価	分析・考察	高校生の文化芸術活動の発表や作品の鑑賞を通じて、互いの活動や工夫等の情報交換の場を創出し、新たなつながりや活動を生み出す機会を提供できた。	
	今後の取組方針	開催日程の調整等を円滑に行うための効果的な手法を検討し、参加者と入場者の増加を図る必要がある。	



取り組む柱	3 活動の促進	事業概要	数々の古典文学の舞台となった文化的伝統の継承・発展を図り、市民文化の向上に資することを目的として実施する。
主な市の事業 (令和4年度)	(源氏ろまん事業) 紫式部市民文化賞 :文化スポーツ課	令和4年度実績 (日程・参加者数等)	<紫式部市民文化賞贈呈式> 日時:令和4年11月27日(日) 13:30~14:30 場所:宇治市文化会館 小ホール 受賞作:鳥本純平氏 歌集「葉の上の露」 奨励賞:今村貴久子氏 詩集「ちゅうぶらりん」 ユース賞:小嶋彩加氏 小説「思い思い描く、たった一つの青く光る一瞬の煌めきを」
検証・評価	分析・考察	令和4年度は奨励賞・ユース賞を新設し、副賞等の見直しを行った。また、市販されていない作品を受賞作品集として冊子化し頒布するとともに、市内図書館及び市内小中学校・高校等に配布し、多くの方が手に取りやすいようにした。	
	今後の取組方針	引き続き実施する。 応募者数増加へ向けて、広報手段等の検討が必要である。	



取り組む柱	3 活動の促進	事業概要	多様な媒体を活用した文化芸術に関する情報発信のため、インターネット上の動画配信という形で、市内で活動している団体・個人の文化芸術作品を専用のYouTubeチャンネルにて配信を行う。動画撮影・編集講座を入門編・実践編の2コースで開催する。
主な市の事業 (令和4年度)	文化芸術活動 おうえんチャンネル :文化スポーツ課	令和4年度実績 (日程・参加者数等)	YouTube内の「宇治市文化芸術活動おうえんチャンネル」で、市内で文化芸術活動をされている個人・団体等が作成された動画を配信した。また、動画撮影・編集講座を各2コース、計7日間開催した。 ◎配信動画数 39本 ◎延べ視聴回数 80,579回(令和5年3月末時点) ◎動画撮影・編集講座参加者数 26人
検証・評価	分析・考察	新しい生活様式に対応した文化芸術活動を発表する場を提供することができた。動画配信で市内外の多くの人に見ていただくことで、文化芸術に触れる機会を充実することができた。	
	今後の取組方針	講座を地域展開し、関心ある層が受講しやすい環境を作り、自ら動画撮影・編集・配信することにより、文化芸術活動の活性化につなげる取組を、引き続き実施する。	



取り組む柱	3 活動の促進	事業概要	高齢者の生きがいづくりや高齢者の今後の活動をより充実したものに支援するため、京都文教学園と連携し、大学の特色を生かした多世代での交流など、さまざまな活動を通じ、学びを提供した。
主な市の事業 (令和4年度)	高齢者アカデミー :長寿生きがい課	令和4年度実績 (日程・参加者数等)	通年実施 令和4年度入学者数:16人 令和4年度卒業生数:20人
検証・評価	分析・考察	定員(各年40人)には及ばないものの、新型コロナウイルス感染症の影響も残るなか、対面での講義が再開され、卒業後の活動に向けた実践的な卒業研究が実施されるなど、在学生の主体的な取組が多くみられた。	
	今後の取組方針	より多くの高齢者の方が、地域で活躍できるよう、今まで以上にそれぞれの方の特技を活かした活動が実施できるよう、引き続き大学と連携して進めていく	




取り組む柱	4 担い手 ・支え手育成	事業概要	合唱団活動を通して、自主的で情操豊かな児童・生徒を育成することを目的とし、昭和54年8月に、国際児童年を記念して結成した。毎週土曜日の定期練習及び定期演奏会の開催のほか、各種発表会・市の公式行事等に出演する。
主な市の事業 (令和4年度)	少年少女合唱団 :文化スポーツ課	令和4年度実績 (日程・参加者数等)	団員は市内在住の小学2年生から中学3年生までの約30人で、土曜日午後の練習、コンサート出演などの活動を行い、令和4年度は、大阪で開催された全日本少年少女合唱祭全国大会に4年ぶりに参加した。
検証・評価	分析・考察	合唱団活動に取り組むことにより、小・中学生の文化意識及び協調性などを育てることができた。	
	今後の取組方針	今後もさらなる活性化に向けて、市内小・中学校の協力を得ながら団員確保に努めるとともに、合唱団活動という体験をきっかけに文化芸術の担い手を育成していく、持続可能な運営手法について検討する必要がある。	



取り組む柱	4 担い手 ・支え手育成	事業概要	市内の小・中学生及び高校生等の文化に関する意識の高揚や振興を図るため、文化活動に関して優秀な成績を収めた者又は顕著な成果を挙げた者に対し、市長が表彰し、その顕彰をするものである。
主な市の事業 (令和4年度)	市ジュニア文化賞・ジュニア文化奨励賞 :生涯学習課	令和4年度実績 (日程・参加者数等)	ジュニア文化賞受賞者・団体:6件 ジュニア文化奨励賞受賞者・団体:2件
検証・評価	分析・考察	受賞者・団体数は令和3年度並みであった(ジュニア文化賞6件、ジュニア文化奨励賞1件)。大会やコンクール等の開催状況は新型コロナウイルス感染症が流行する以前と同じ位に戻ってきていると考えられる。	
	今後の取組方針	引き続き、市内の小・中学校、市内及び近隣の高校に推薦依頼し、候補者を募るとともに、情報収集に努める。	



<p>取り組む柱</p>	<p>4 担い手 ・支え手育成</p>	<p>事業概要</p>	<p>宇治茶の伝統的な「手摘み」を市民並びに観光客に体験していただき、宇治市の伝統産業であり、特産品でもある宇治茶の普及啓発を図る。 当日はお茶摘みの体験及び新茶の振る舞いを実施。</p>
<p>主な市の事業 (令和4年度)</p>	<p>市民茶摘みのつどい :農林茶業課</p>	<p>令和4年度実績 (日程・参加者数等)</p>	<p>5月8日(日)10~12時 159名 新型コロナウイルス感染症対策のため、参加事前予約制で制限した形で開催した。</p>
<p>検証・評価</p>	<p>分析・考察</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で外出控えが続いていることから、参加者が定員に達しなかったと考える。</p>	
	<p>今後の取組方針</p>	<p>令和5年度も昨年度と同様の人数制限にて開催予定。参加者数については今後定員制を継続するかについては要検討事項。</p>	
			

取り組む柱	5 情報の発信	事業概要	伝統ある日本女性文学の継承・発展と、市民文化の向上に資することを目的として実施する。受賞者講演会を開催したり、市政だよりにコラムを掲載することで、市民に宇治市の魅力を再認識してもらう。
主な市の事業 (令和4年度)	(源氏ろまん事業) 紫式部文学賞 :文化スポーツ課	令和4年度実績 (日程・参加者数等)	< 紫式部文学賞贈呈式及び紫式部文学賞受賞者講演会 > 開催日: 令和4年11月27日(日) 贈呈式: 13:30~14:30 講演会: 15:00~16:00(参加者159人) 場 所: 宇治市文化会館 小ホール 受賞作: 奈倉有里氏「夕暮れに夜明けの歌を 文学を探しにロシアに行く」
検証・評価	分析・考察	令和4年度は、副賞等の見直しを行った。	
	今後の取組方針	引き続き実施する。 より多くの市民が誇りと愛着を持って関われる賞になるよう、実施方法を検討していく必要がある。	



取り組む柱	5 情報の発信	事業概要	平安時代の民俗芸能である宇治田楽を市民のまつりとして復活し、京都府立宇治公園(中の島)で披露する他、宇治市文化芸術活動おうえんチャンネルにて動画配信を行う。
主な市の事業 (令和4年度)	(源氏ろまん事業) 宇治田楽まつり :文化スポーツ課	令和4年度実績 (日程・参加者数等)	日時: 令和4年10月15日(土) 14:45~16:10 場所: 京都府立宇治公園(中の島) 出演者 66人 / 観覧者 700人
検証・評価	分析・考察	市民に宇治市の魅力を再認識してもらえる機会を創出し、市民文化の向上が図れた。	
	今後の取組方針	引き続き実施するとともに、より市民に参加してもらえるよう広報手段等を検討する。	



取り組む柱	5 情報の発信	事業概要	宇治茶の魅力や宇治の歴史・文化を発信するため、ミュージアム運営および各種事業を実施した。
主な市の事業 (令和4年度)	お茶と宇治のまち歴史公園 :観光振興課	令和4年度実績 (日程・参加者数等)	令和4年度 ミュージアム入館者数11,687人 講座・体験事業参加者数7,409人
検証・評価	分析・考察	令和3年10月1日の全面オープンから新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、入館者が伸び悩んでいる状況である。	
	今後の取組方針	入館者の増加を目指し、情報発信の更なる強化を検討する。なお、修学旅行やインバウンドの受け入れに向けた旅行会社へのPR活動、SNSを利用した内外への積極的な発信など、利用促進に向けた取組を実施している。	



取り組む柱	5 情報の発信	事業概要	『源氏物語』や宇治の歴史、文化を紹介する常設展のほか、毎回テーマを決めて実施する企画展、隔年で開催するミュージアム特別企画展、資料館特別展を実施。
主な市の事業 (令和4年度)	源氏物語ミュージアム、 歴史資料館での展示 :博物館管理課	令和4年度実績 (日程・参加者数等)	ミュージアム:企画展4回 資料館:企画展4回、特別展1回
検証・評価	分析・考察	ミュージアム企画展は空調工事に伴う臨時休館のため、例年より1回少なかった。歴史資料館特別展では、宇治市の特徴ある生活環境について紹介した。	
	今後の取組方針	令和5年度は大河ドラマ「光る君へ」の放送に合わせてミュージアム特別企画展や歴史資料館企画展を開催し、効果的な情報発信を行う。	



(2) 令和5年度におけるその他の文化事業について

1 五感で楽しむ古の文化講座

「五感で楽しむ」をコンセプトに、年4回、平安時代の文化に触れる体験型講座を開催。誰もが楽しんで参加できる、今につながる文化・歴史を感じることができる講座です。

—紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト—

第1回 オリジナル練香づくり

- 日時 令和5年6月10日(土) 14:00～15:30
- 会場 お茶と宇治のまち歴史公園 茶づな 体験室1
- 講師 山田松香木店
- 定員 先着20名(4歳以上対象) ※小学生以下は保護者同伴
- 参加費 500円
- 特典 全員に匂い袋(巾着)プレゼント

■実施結果

□講座内容

お香の歴史や香原料の説明の後、伽羅の香木を手にとって観察し、匂いをかいでみたり、9種類の原料をオリジナルの配合で混ぜ合わせ、蜜でねりあげて練香をつくり、香炉で焚いてみるといった体験を行いました。

□参加者

20名 ※小学生から70代の方まで幅広い層が参加

□参加者の声

- ・自分で好みのものを合わせて作れてとても楽しかった。貴重な体験ができた。
- ・古来より伝わる文化に触れる機会をいただき感謝。調香師さんに敬意です。
- ・勉強になった。自宅で焚いてみたい。
- ・孫と参加したが、孫と同じ時間を過ごせてよかった。
- ・いろいろなにおいがあったのしめました。ふだんできないたいけんだったのでうれしかった。こんなふうにするんだと思ってべんきょうになりました。(9歳)
- ・練香について、材料や文化の歴史について、たくさん知ることができ、とても楽しかったです。なかなかできない貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。これを機に、香木について調べたいと思います。(19歳)

□会場風景写真



第2回 平安時代のスイーツ・削り氷を食べよう

- 日時 令和5年8月2日(水) 10:30~12:00
13:30~15:00
- 会場 生涯学習センター 第2ホール・調理室
- 講師 前川佳代さん(奈良大学 大和・紀伊半島学研究所
古代学・聖地学研究センター)
- 定員 各回先着16名※小学生以下は保護者同伴
- 参加費 300円
- 特典 各回抽選で1名に『古典がおいしい!平安時代のスイーツ』
サイン本プレゼント

■実施結果

□講座内容

奈良時代に様々な用途で使われていた“甘葛煎”は、真冬の最も糖度を増す時期のブドウ科のツタから時間をかけて採取した樹液を煮詰めてできる貴重なもの。

前半は、砂糖伝来により作り方が分からなくなってしまった幻の味を現代に蘇らせた、奈良あまづらせん再現プロジェクトの取組について、映像を交えて紹介。後半は『古典がおいしい!平安時代のスイーツ』より、家庭でも作れるレシピであまづら風シロップを作り、氷にかけていただきました。

また、サプライズとして、奈良あまづらせん再現プロジェクトが、“甘葛煎”の味覚を分析・開発し、令和5年7月9日に記者発表された新しい“甘葛シロップ”を提供いただき、2つの味を食べ比べました。

□参加者 ※小学生から70代の方まで幅広い層が参加

1回目 14名 ほか、見学者4名

2回目 13名 ほか、見学者3名

□参加者の声

・詳しいご説明のあと、実習で甘葛風シロップ作りを体験できてとっても良かったです。甘葛の削り氷はとても上品な甘味で、平安時代の高貴な方のスイーツを味わうことができ、ありがとうございました。

・昔の生活が体験できたことが、すごく興味深く楽しかった。更に興味を持つきっかけになった。こどもも楽しめたようで嬉しい。

・五感で楽しむ古の文化講座、興味があり参加させていただきました。自分がもしその時代に生まれていたらとふと想いを馳せてみました。味覚をしっかりと味わせていただきました。良い機会をいただきましてありがとうございました。

・昔にこんな優雅なものを食べていたことにびっくりしました。自然をよく知らないといけないので、改めて自然を大切にしていけないと思いました。

・氷のひみつに書いていたことがこのプロジェクトにのっていたから。五感で楽しむ…スイーツを食べようというもので、甘葛煎のことが分かったから(大変良かった)です。

(9歳)

・平安時代のスイーツはどんな味か知りたかったから(大変良かった)です。(9歳)



同日 8月2日夜10時放送の
NHK「歴史探偵」に
あまづらかき氷が登場しました！

第3回 『源氏物語』の雅楽曲－古い楽譜の解説と演奏－

- 日時 令和5年11月5日(日) 13:30～15:00
- 会場 生涯学習センター 第1ホール
- 講師 田鍬智志さん(京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター)
- 定員 先着100名※小学生以下は保護者同伴
- 参加費 無料
- 特典 抽選で1名に龍笛プレゼント

第4回 貝合わせ－王朝あそび－

- 日時 令和6年2月10日(土) 10:30～12:00
13:00～14:30
- 会場 文化センター 練習室3・4
- 講師 佐藤朋子さん(貝合わせ貝覆いとも藤)
- 定員 各回先着親子5組10名
- 参加費 300円
- 特典 全員に貝みくじプレゼント

2 令和5年度 つなぐみらい文化芸術活動支援事業補助金

『宇治市文化芸術振興条例』及び『宇治市文化芸術振興基本計画』の目指す姿である「文化芸術がつむぐ ひと・まち・みらい」の実現に向け、宇治の豊かな歴史と文化を未来に継承し、自主的かつ創造的な文化芸術活動に要する経費について、予算の範囲内において、つむぐみらい文化芸術活動支援事業補助金交付要項に基づき、補助金を交付します。

(3) 令和5年度「源氏ろまん2023」(案)について

令和5年度の源氏ろまん事業及び同時開催事業の一部については、「“ほんまもん”の素晴らしさを伝える」「源氏物語の世界を伝える」「ゆかりの地との連携」の3つを柱に、市民及び観光客に宇治の歴史・文化・観光の魅力を発信する、「紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト」の一環として実施します。

1 源氏ろまん事業

(1) 宇治十帖スタンプラリー～スマホで巡る～

- 日時 令和5年10月1日(日)～11月30日(木)
- 会場 宇治橋を中心にした全21ポイント(宇治十帖ゆかりの地など)
- 内容 宇治橋周辺の宇治十帖ゆかりの地などスポットを21箇所設置します。スマートフォン等のGPS機能を使用したスタンプラリーのほか、スマートフォンをお持ちでない方向けにウォーキングマップを配布し、紫式部ゆかりの地を紹介します。また今年度は、スマートフォンで参加される場合、スポットにおいて音声ガイドを聞くことができます。宇治十帖踏破者へは紫式部をイメージした記念のオリジナルバッジの復活に加え、抽選で宇治の多様な体験ができる賞品を準備します。
- 参加予定数 5,000人～7,000人程度

(2) 第33回紫式部文学賞・紫式部市民文化賞受賞作品発表

- 日時 令和5年10月5日(木) 14:00～15:00
- 会場 宇治市源氏物語ミュージアム 講座室
- 内容 受賞作品発表
主催者(宇治市長、宇治市教育委員会教育長)
紫式部文学賞選考委員長 鈴木 貞美 氏
紫式部市民文化賞選考委員長 山路 興造 氏

(3) 宇治田楽まつり

- 日時 令和5年10月14日(土) 17:00~19:00
- 会場 京都府立宇治公園中の島および周辺(雨天:宇治市文化会館 大ホール)
- 内容 平安時代の代表的な芸能であるオリジナルの「宇治田楽」をさらに充実させ、ふるさと宇治にふさわしい市民の祭りとして盛大に開催します。

(4) 源氏物語セミナー

- 日時 令和5年10月17日(火) 14:00~15:30
- 会場 宇治市生涯学習センター 第1ホール
- 講師 久保 智康 氏(叡山学院教授、京都国立博物館名誉館員)
- 演題 紫式部たちの物語る仏教の信仰と場-法華経と念仏、そして宇治の苑池-
- 募集人数 100人(応募者多数の場合抽選)

(5) 第33回紫式部文学賞・紫式部市民文化賞贈呈式

及び紫式部文学賞受賞者講演会

- 日時 令和5年11月18日(土) 13:30~16:00
- 会場 宇治市文化会館 大ホール
- 内容 両賞のPRにあわせ、文化芸術活動団体による作品展示や演奏など、会場を彩る企画を実施します。

第1部 贈呈式

主催者(宇治市長、宇治市教育委員会教育長)

「紫式部文学賞」

「紫式部市民文化賞」

「紫式部市民文化賞奨励賞」

「紫式部市民文化賞ユース賞」

講評 紫式部文学賞選考委員長 鈴木 貞美 氏

紫式部市民文化賞選考委員長 山路 興造 氏

第2部 紫式部文学賞受賞者講演会

演題 未定

講師 第33回紫式部文学賞受賞者

- 募集人数 500人(応募者多数の場合抽選)

2 同時開催事業

(1) 宇治市源氏物語ミュージアム 企画展「宇治と憂し ゆめかうつつか 」

○会期 令和5年9月13日(水)～11月26日(日)

(2) 宇治市源氏物語ミュージアム 連続講座「私」の「光る君」へ

○日時 令和5年11月16日(木) 14:00～15:30

○会場 宇治市生涯学習センター 第1ホール

○講師 有松 遼一 氏(能楽師ワキ方高安流)

○演題 『源氏物語』の女性たちの「妄執」

○募集人数 100人(応募者多数の場合抽選)

(3) 宇治茶まつり

茶祭式典、茶筌塚供養、茶席、名水汲み上げの儀 他

○日時 令和5年10月1日(日) 9:00～15:00

○会場 興聖寺、宇治上神社、京都府茶業会館、宇治橋三の間

(4) 宇治市民文化芸術祭

○日時 令和5年10月21日(土)・22日(日) 10:00～16:30

○会場 宇治市文化センター

(5) 五感で楽しむ古の文化講座

○日時 令和5年11月5日(日) 13:30～15:00

○会場 宇治市生涯学習センター 第1ホール

○講師 田鍬 智志 氏(京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター准教授)

○演題 『源氏物語』の雅楽曲 古い楽譜の解読と演奏

○募集人数 100人(先着)

(6) 高校生文化芸術祭典 FUN×FAN×FES

○日時 令和5年12月9日(土)・10日(日) 10:00～17:00

○会場 宇治市文化センター

(4) 紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクトについて

宇治市では、令和6年大河ドラマ「光る君へ」を契機に紫式部や源氏物語ゆかりのまちとして、宇治の歴史・文化・観光の魅力を発信する「紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト」を進めています。

1 これまでの取組状況

「紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト」として、源氏物語ミュージアム連続講座や入門講座、今年度新たに「五感で楽しむ古の文化講座」などに取り組み、それぞれ定員以上の申込みがあるなど大変好評をいただいています。

「紫式部ゆかりのまち宇治推進プラットフォーム会議」をすでに2回開催し、メンバーによる宇治十帖の屏風展が開催されるなど、地域でゆかりのまちの取組を進めています。



2 今後の予定

(1) 【新規】＜連続講座＞源氏物語とそのゆかりの植物（生涯学習課）

源氏物語に出てくる植物にスポットをあて、座学と植物公園でのフィールドワークの2回講座でゆかりの植物を学び、源氏物語の世界をより深く感じていただけます。

日時・会場

9月22日（金） 13時半～15時 宇治市生涯学習センター

10月6日（金） 13時半～15時半 宇治市植物公園

講師 松谷 茂氏（京都府立大学客員教授 京都府立植物園名誉館長）

定員 30名（応募者多数の場合抽選）

参加費 1,000円

申込 9月1日（金）までに電話・FAX・Eメール・来館にて生涯学習センターへ

希望する回、氏名、住所、電話番号、送迎バス利用の有無、保育の有無
 (ありの場合は子どもの名前と年齢を記入)

送迎バスあり

行き (生涯学習センター 植物公園、13 時集合、13 時半出発)

帰り (植物公園 市役所、講座終わり次第 (16 時頃))



(2) <連続講座> 「私」の「光る君」へ (源氏物語ミュージアム)

日程・演題・講師

回	日程	演題	講師	締切
5	9 月 21 日 (木)	『源氏物語』における人的ネットワーク - ゆかり・たより・とぶらひ -	京樂 真帆子氏 (滋賀県立大学教授)	8 月 31 日 (木)
6	11 月 16 日 (木)	『源氏物語』の女性たちの「妄執」	有松 遼一氏 (能楽師ワキ方高安流)	10 月 31 日 (火)

時間 14 時 ~ 15 時半

会場 宇治市生涯学習センター 第 1 ホール

募集人数 100 人 (応募者多数の場合は抽選)

参加費 600 円

応募方法 往復はがき、もしくは E メール

(kozamuseum@city.uji.kyoto.jp) に、「連続講座 第〇回」、郵便番号、住所、氏名 (ふりがな)、電話番号を記入。締切日必着で宇治市源氏物語ミュージアム (〒 611 0021 宇治市宇治東内 45-26 へ。持参で申し込む場合は、返信用はがきだけで可。)

1 枚のはがきにつき 1 講座 1 人まで。E メールで応募の場合も 1 通のメールにつき同様。当館からのメール案内が受信できるよう設定が必要。各申し込み方法での重複応募は不可。

(3) 五感で楽しむ古の文化講座 (文化スポーツ課)

日時 11月5日 (日) 13時半 ~ 15時

会場 宇治市生涯学習センター 第1ホール

講師 田鍬 智志氏

(京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター准教授)

演題 『源氏物語』の雅楽曲 - 古い楽譜の解読と演奏 -

募集人数 100人 (先着)

応募方法 10月2日 (月) ~ 19日 (木) 申込フォームから

(4) 宇治市源氏物語ミュージアム 企画展「宇治と憂し - ゆめかうつつか - 」

期間 令和5年9月13日 (水) ~ 11月26日 (日)

会場 宇治市源氏物語ミュージアム

(5) イベントカレンダー

紫式部イベントカレンダーを作成し、宇治市ホームページ等で今後のプロジェクトのスケジュールを随時更新していきます。

紫式部ゆかりのまち宇治推進プラットフォーム会議のメンバーの取り組みも併せて紹介します。

また、「紫式部ゆかりのまち」の魅力を市民や観光客に見える形で伝えるため、新たに (株) 京都アニメーションと連携し、ロゴやキャッチコピーなどを制作します。(秋頃完成予定)

紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト 令和5年度 紫式部イベントカレンダー（予定）

月	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	会場・問合せ先	
ドラマ										NHK大河ドラマ「光る君へ」放送 R6. 1～R6. 12				
展示				源氏物語ミュージアム企画展 「源氏ワンダーランド」 7/12～9/10									会場：源氏物語ミュージアム 問合せ：博物館管理課	
					源氏物語ミュージアム企画展 「宇治と憂し ―ゆめかうつつか―」 9/13～11/26								会場：源氏物語ミュージアム 問合せ：博物館管理課	
							源氏物語ミュージアム特別企画展 「このわたりに薫る君やさぶらふ」 11/29～R6. 2/4						会場：源氏物語ミュージアム 問合せ：博物館管理課	
										歴史資料館企画展 2/17～4/21			会場：歴史資料館 問合せ：博物館管理課	
			ちゅう源氏の	源氏物語絵巻	イラスト展示					ちゅう源氏の	源氏物語絵巻	イラスト展示		会場：生涯学習センター 問合せ：生涯学習課
													源氏物語通読サークル 「源氏のつどい」展示 1/9～1/15	会場：生涯学習センター 問合せ：生涯学習課
										大河ドラマに関する展示			会場：お茶と宇治のまち歴史公園 問合せ：観光振興課	
講座								紫式部文学賞・市民文化賞贈呈式 紫式部文学賞受賞者講演会（予定） 11/18					源氏ろまん事業 会場：文化会館 問合せ：文化スポーツ課	
			6/10		8/2		11/5		2/10				問合せ：文化スポーツ課	
		源氏物語ミュージアム連続講座 「私」の「光る君」へ（全10回） 5/31 6/15 7/27 8/17 9/21 11/16 12/14 1/24 2/15 3/1											会場：生涯学習センター 問合せ：博物館管理課	
		源氏物語ミュージアム入門講座（全9回） 超！入門講座 宇治で源氏物語を読むために 第1クール（全3回） 第2クール（全3回） 第3クール（全3回） 6/14 7/5 8/9 9/6 10/11 11/9 12月～2月											会場：生涯学習センター 問合せ：博物館管理課	
									源氏物語セミナー（予定） 10/17					源氏ろまん事業 会場：生涯学習センター 問合せ：博物館管理課
							宇治市民大学後期宇治学コース（全5講） 王朝文学の世界、そして淀と石清水 9/16 10/14 11/18 12/23 1/20						会場：生涯学習センター 問合せ：生涯学習課	
						生涯学習センター教養講座（全2講） 「源氏物語ゆかりの植物」 9/22 10/6							会場：生涯学習センター、植物公園 問合せ：生涯学習課	
イベント							宇治十帖スタンプラリー（予定） 10/1～11/30						源氏ろまん事業 会場：宇治十帖ゆかりの地など 問合せ：観光振興課	
							宇治田楽まつり（予定） 10/14						源氏ろまん事業 会場：宇治公園中の島及び周辺 問合せ：宇治田楽まつり実行委員会 文化スポーツ課	
									平安時代なりきり体験				問合せ：観光振興課	
									トークショー				問合せ：観光振興課	
										歴史文化体験			問合せ：歴史まちづくり推進課	
										三市周遊 イベント実施		問合せ：観光振興課		
プロモーション	ゆかりのまちプロモーション											問合せ：秘書広報課 観光振興課		
	広報宣伝物活用											問合せ：観光振興課		
	特設ホームページ R5. 11月公開予定											問合せ：観光振興課		
	3市連携ホームページ R5. 11月公開予定											問合せ：観光振興課		
フライト				宇治十帖屏風展 8/4～8/6									会場：お茶と宇治のまち交流館茶づな 問合せ：茶づな	
						タペストリーデザイン 募集 9/18～10/31			そのほかプラットフォーム会議 メンバーにおいて計画中			問合せ：植物公園		